

『大上地区社協』ニュース



■No74 ■平成26年10月発行 ■大上地区社会福祉協議会 ■発行責任者 市ノ澤 寅夫

深谷大上ふれあいの家で秋雨の中、一日を楽しむ 「笑いとおしゃべりいっぱい市」を10月5日(日)に開催

大上地区社協は、今年も秋の一日をみんなであいっぴい・おしゃべりいっぱいとなる“笑いとおしゃべりいっぱい市”を、10月5日(日)に深谷大上ふれあいの家と隣地の柳川広場を会場として催す予定でしたが、台風18号の影響で雨天となり、急きょ深谷大上ふれあいの家の室内と前日から準備した特設テントで行いました。

今年は大上地区社協の設立10周年を迎えるの記念の行事であり、予定では会場入口にかかし10体と子ども人形30体、そして地区社協の会員や地域の皆さんの協力で、それぞれの願いを込めて6月から準備してきた折鶴約5千羽がお迎えする趣向でしたが、やむなく取り止めて室内にかかし10体と一部折鶴を活用して催され、大雨ながらも280人の皆さんが参加されて秋の一日を楽しんでいました。

会場となった30㎡のホールと特設テントには、午前10時から皆さんが集まり始め、用意された赤飯、焼き魚、ふかし芋、枝豆等を食べながら仲間と懇談。また、当日朝9時からのNHKの「日曜討論」に出演された地元選出の衆院議員で経済再生担当の甘利大臣を始め、笠間市長、増田会長、地元選出の笠間県議や市議会議員も多忙な中を駆けつけ、参加者の皆さんと懇談して催しを盛り上げて下さいました。ただ、予定されていた君佳会の新舞踊や大上太鼓、フラダンス等は取り止めとなり、着物リフォームの発表会のみ行なわれた。

一方、会場では皆さんから提供された日用品等のチャリティバザーも行なわれ、売上金16,155円の全額が市社協を通して東日本大震災の被災地へ送る事ができました。

参加されたご婦人の1人は『あいにくの大雨で残念でしたが、甘利大臣と笠間市長がかかしの顔を描かれたりして驚きました。地域でこんな催しがあるなんて、素晴らしいですね。これからも毎年やって欲しいです。もちろん、来年も来ます。』と話していました。



笑いとおしゃべりいっぱい市の会場



かかしに顔を描く笠間市長



リフォーム発表を見る甘利大臣

来賓の皆様	
・経済再生担当	甘利大臣
・綾瀬市	笠間市長
・綾瀬市社協	増田会長
・県議会	笠間議員
・綾瀬市議会	増田議員
・ //	綱嶋議員
・ //	内山議員
・ //	吉川元議長
・大上自治会	見上会長



会場内のスナップ



特設テント内で準備するスタッフの皆さん

